



### 夢と希望を与える！



2012年のロンドンオリンピックで銅メダルを獲得した全日本女子バレー。実に28年ぶりの快挙だった。この偉業に貢献した選手の中に竹下佳江はいた。

彼女の身長は159cmという小柄な体格であったが世界最小最強セッターという代名詞で世界の舞台で活躍した。一時は、背が低いということでバッシングを受け、バレー界から遠のいたこともあった。

しかし、見事に復活し日本女子バレーのキャプテンとして返り咲いた。背が高いのが当たり前の世界で、ブロック・レシーブ、時にはアタックと活躍する彼女の姿に何度も心を打たれた。それは、背が低いというハンデがあっても、**頑張れば夢は叶う！**と教えてもらっているようだった。彼女の活躍を見て、多くの人が希望や活力をもらったことだろう。

言葉や文字以外にも、何かを伝えたり人を動かしたりする方法はある。  
ひたむきな姿勢や行動で誰かに何かを伝えることが出来れば、こんなに素晴らしいことはない。

情報提供: 特別情報紙

### 太陽光発電パネルと架台の隙間の暖気、熱源に 住宅内に循環



住宅企画・設計のワールドルームブリス(WRB、広島県福山市)は屋根に設置した太陽光発電パネルと架台との間で暖められた空気を、暖房の熱源に活用するシステムを開発した。気象条件にもよるが、冬季の場合で外気温がセ氏10度程度であれば室内を20度前後に維持できる。電気やガスの空調設備の運用コスト削減に大きくつながる。年内の製品化を目指す。

開発したシステム「ZEH」は太陽光発電パネルと、パネルを支えるため屋根の上に設置する波形の架台の間にたまる空気を活用する。太陽光で暖められた空気を取り付けたダクトで吸引。空気清浄機を通したうえで室内に24時間循環させる。従来、暖気は使われずにそのまま放置されていた。

屋根に設置する太陽光発電パネルは既存製品の使用が可能だ。太陽光発電によるエネルギーも利用することで、2階建てで3LDK程度の住宅の場合、**暖房などにかかる費用は最大で従来の半分程度に抑えることができる**という。

併せて、地中に敷設したパイプに空気を通すことで冷気を作り出し、夏場の冷房費を削減する。地中熱は夏場でもセ氏15度程度で安定している。冷気を室内に取り込むことで空調機の使用を抑えることにつながる。

冷暖房費や消費電力を節約する一般的なエコ住宅は、太陽光パネルに加えて高気密高断熱、電気使用量が少ない発光ダイオード(LED)の照明、高効率冷暖房機を導入するのが主流となっている。ただ初期投資が膨らむため、導入に二の足を踏む人が多く、普及の妨げとなっている。

ZEHをはじめとするWRBが開発した設備を使うエコ住宅の建設費は同規模の住宅とほぼ変わらないという。同社は福山市内に第1号となるモデルハウスを建設。昨年末からのデータ検証を踏まえ、今夏にも設備の改良も進めて本格販売に備える。販売価格は今後詰める。

情報提供: 日本経済新聞

### 大建工業、見積専用サービス開始



大建工業(大阪府大阪市)は、見積専用サービス「D-SKET(ディースケット)」を開始した。工務店が同システムを利用して見積書を作成すると、流通店や同社で共有し、正式発注まで利用することができる。

画面表示の商品画像をクリックすると、簡単に品番が特定でき、デザインや色柄などの詳細を確認できる。

品番入力も簡単な条件選択で済むため、**入力ミスや見積書作成時間も削減できる。**同社の収納プランニングソフトともデータ連携しており、そこからの見積もりも可能だ。

情報提供: 大建工業